

CSR Report 2017





Contents

ステークホルダーの皆さまへ	P.3	お客様とともに〔開発本部〕	P.17
会社概要	P.5	従業員とともに〔人事部〕	P.19
CSRの考え方	P.7	取引先とともに〔生産本部〕	P.21
品質方針	P.9	株主とともに〔総務部〕	P.23
環境方針	P.10	地球環境のために〔品質保証室 環境推進課〕	P.25
特集 感震ブレーカー普及への取り組み	P.11	企業ガバナンス	P.27
お客様とともに〔品質保証室〕	P.13	安全・安心な職場づくり	P.29
お客様とともに〔営業本部〕	P.15	社会貢献	P.30



編集方針

2002年度に「環境レポート」を発行し、環境保全に関わる取り組みを報告してきました。2005年度からは「社会・環境報告書」と名称を改め、持続可能な社会構築に向けて、CSR（企業の社会的責任）の考え方や活動について報告を始めました。

さらに、2015年度からCSRに対する取り組みを、社会の実情に応えるべく、名称も「CSR報告書」として発行しています。

私たちは、CSR経営方針に掲げた5つのテーマを重点課題と位置づけ、さまざまな活動に取り組んでいます。

今回、「感震ブレーカー普及への取り組み」を特集として取り上げました。当社では、このCSR報告書を企業コミュニケーション活動の重要なツールと考え、分かりやすくお伝えすることを目指して作成しています。

今後の活動の参考とさせていただくため、添付のアンケート用紙から皆様のご意見・ご感想をお寄せください。



対象期間 2016年4月1日～2017年3月31日
 対象範囲 本社・開発本部・名古屋工場／菊川工場／
 磐田工場／掛川工場／中津川工場／
 唐津工場／栃木野木工場／東北日東工業(株)
 発行時期・部署 2017年10月 広報室 広報課

■ ステークホルダーの皆さまへ



取締役会長 CEO
加藤 時夫

取締役社長 COO
佐々木 拓郎

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～



人へ、社会へ。電気と情報を明日へつなげるために、私たちの技術があります。

1948年の設立以来、私たちは電気設備や機器の開発・提案を通じて
電気や情報のインフラを、毎日の暮らしから産業までのさまざまなシーンで
サポートしてきました。

私たちは美しい地球を次世代へつなぐことに貢献するため
環境に配慮した製品づくりを進めています。
開発段階から製造、製品の輸送、
そしてお客様による使用から廃棄まで環境に配慮することで
お客様が当社の製品をご利用いただくことが、地球環境への貢献につながる
そんな「しくみ」の構築を進めています。

また、近年、東南アジアを中心とした海外にも注力し、
国際市場を見据えた新しい企業基盤づくりを行うことで
グローバルな視野で社会に貢献していきます。

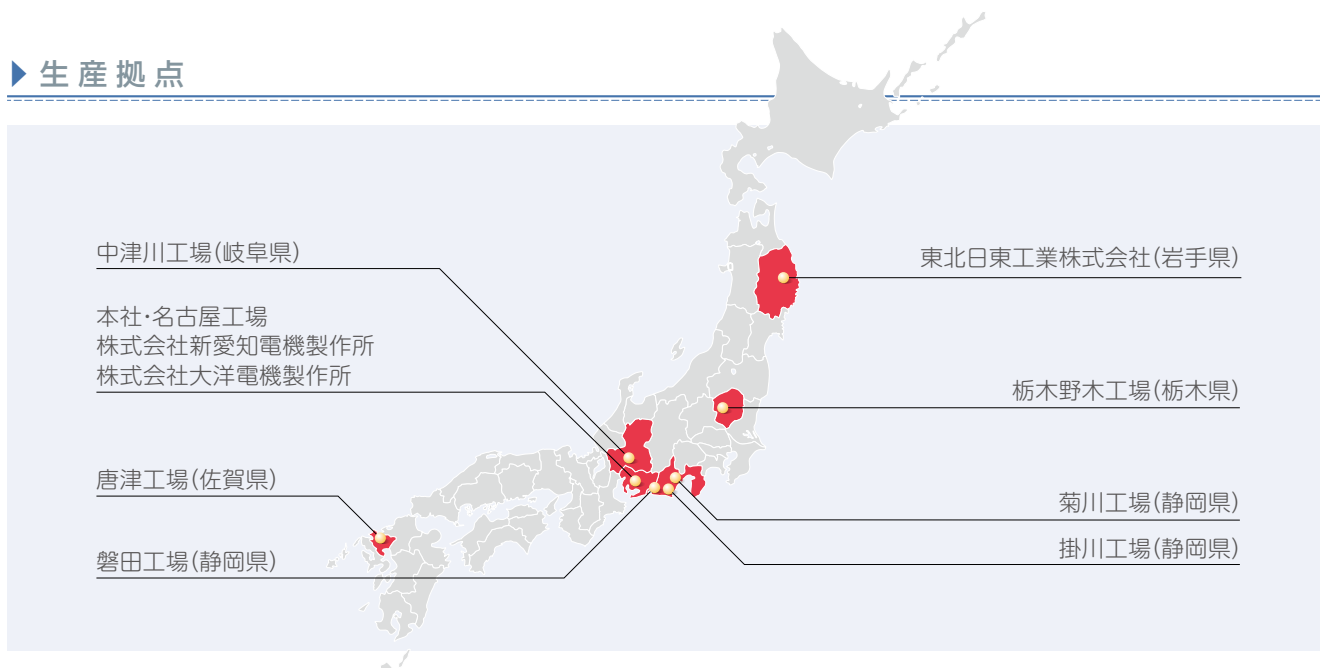
これからも、私たちならではの取り組みにより
社会の持続的な発展に寄与するとともに、お客様に共感していただける
「電気と情報を明日へつなげる価値創造企業」を目指して邁進していきます。

会社概要

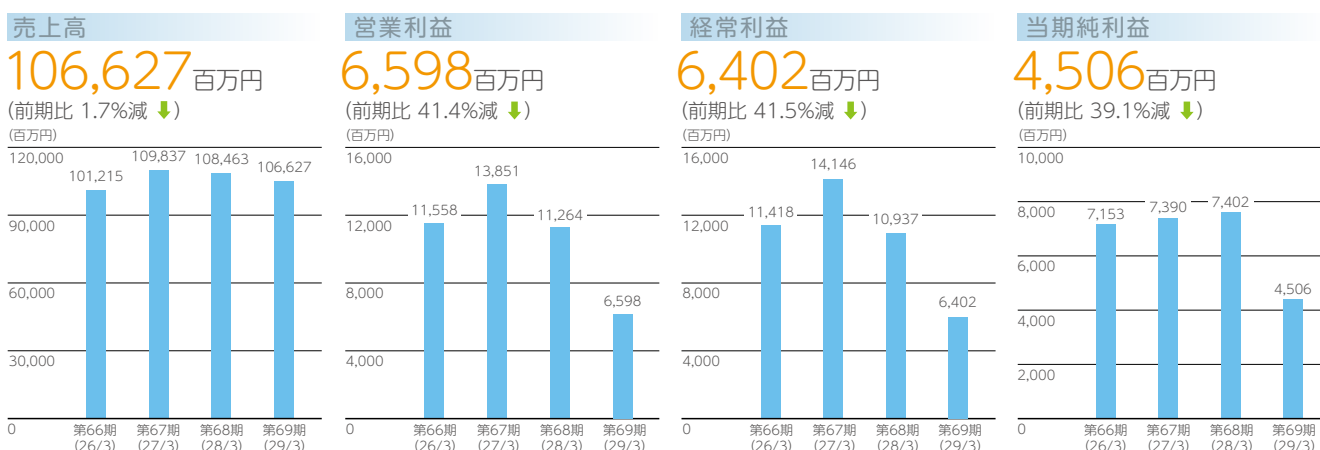
▶ 会社概要 (平成29年3月31日現在)

商 号	日東工業株式会社	事 業 内 容	電気機械器具および その商品の製造ならびに販売 他
英 文 社 名	NITTO KOGYO CORPORATION	工 場	名古屋、菊川、磐田、掛川、中津川、唐津、 栃木野木、東北日東工業(花巻)
本 社	〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地	主 要 営 業 所	札幌、仙台、さいたま、東京、横浜、静岡、 名古屋、大阪、京都、広島、高松、福岡など 全国45カ所※ ※ソリューション営業部を除く
設 立 年 月 日	昭和23年11月24日		
資 本 金	65億78百万円		
従 業 員	1,721名(正社員)		

▶ 生産拠点



▶ 財務データ (連結業績)





▶ 事業概要

配電盤

高圧受電設備(キュービクル)



発電所から送られてくる電気は非常に電圧が高いため、これを一般的に使用されている電圧へ下げるときの機器を箱に納めたもの。店舗などで使用される。

標準分電盤



電気を安全に使用するために必要なブレーカなどの機器を1つにまとめ、箱に納めたもの。

制御盤



工場内の機械やマンションの水タンク用ポンプなどを操作するための機器を箱に納めたもの。

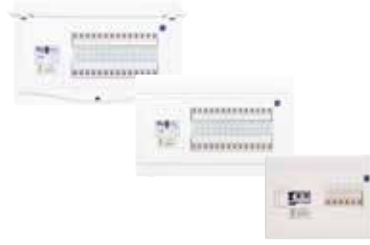
充電スタンド



※充電スタンドは、株式会社豊田自動織機と日東工業株式会社による共同開発製品です。

電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド自動車(PHEV)を充電するために、電気を供給する充電スタンド。

ホーム分電盤



住宅内の照明やコンセントに電気を供給する。電気の使い過ぎなど危険がある場合は自動的にブレーカを切り、安全を守る。

光接続箱



インターネットなどで使用する光ケーブル同士を繋いだ部分を、安全に守るための箱。

キャビネット

キャビネット



機器の収納、機器への接触防止などを目的とした箱。使用場所、条件によって、形状や材質が異なる。

プラボックス



用途はキャビネットと同じだが、材質がプラスチックのもの。軽量であり錆に強いなどの特徴がある。

システムラック



インターネットやCATVなどに使われる通信機器を収納するための箱。

遮断器・開閉器

ブレーカ、開閉器・端子台



電線同士を接続する際に使用する機器。特にブレーカは電気を使い過ぎた場合などに自動で電気の流れを止める役割を果たしている。

パーツ・その他

熱関連機器



キャビネット・盤などの内部の熱を外部へ逃がすためのルーバー・換気扇や、内部を冷却するためのクーラなどがある。

盤用パーツ



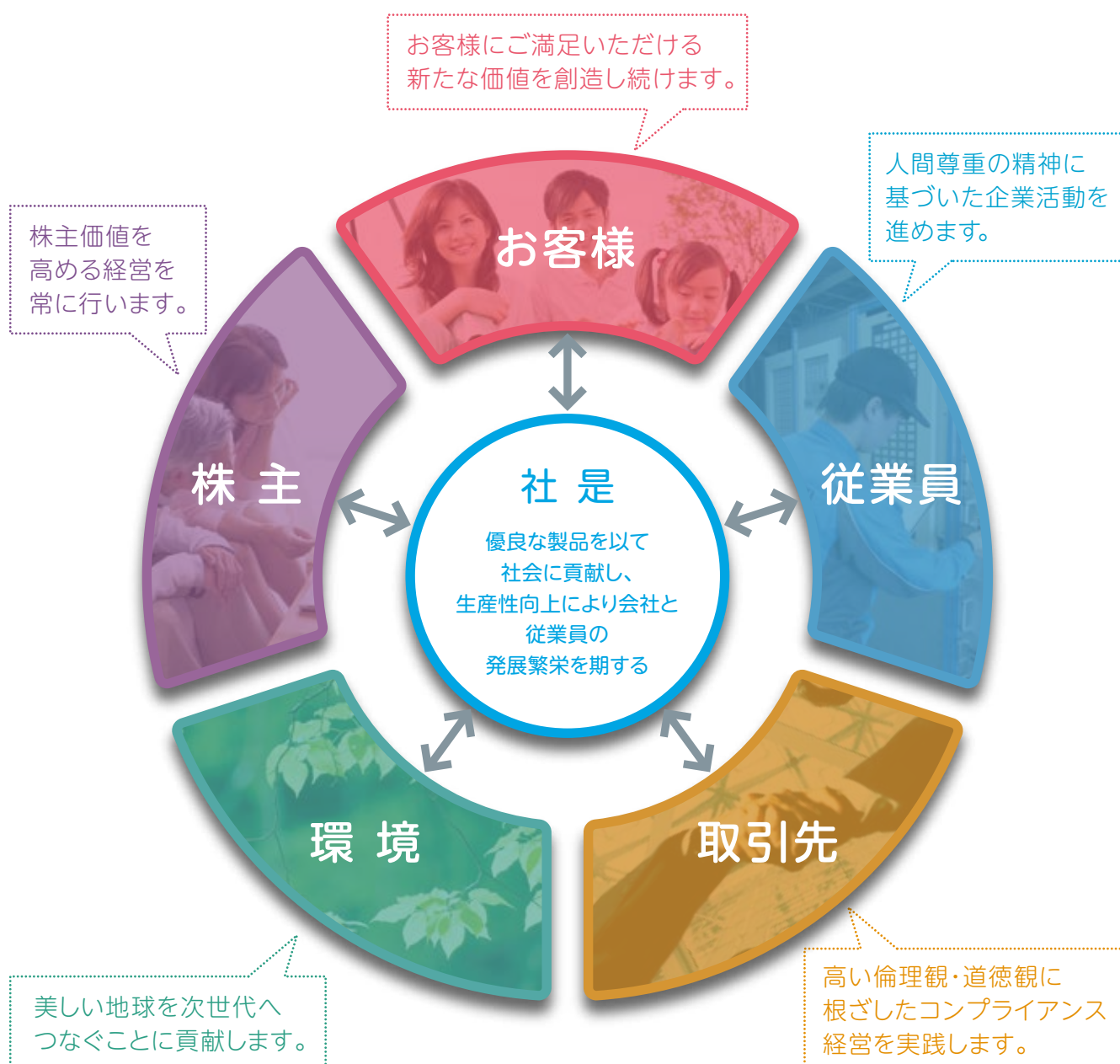
分電盤に使用する銅バーや電力計の数値を確認するための窓など、当社製品に使用されている部品をパーツ化したもの。

CSRの考え方

当社は、設立以来「優良な製品を以て社会に貢献し、生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する」を社是として、この思いを大切にし、いつの時代も変わることなくお客様に喜んでいただける製品づくりを心がけてきました。

しかし、急速に変わる時代の流れとともに求められる価値が変わってきています。わたしたちは、従業員ひとりひとりが同じ価値観を持ち、お客様や社会の皆様の声に耳を澄ませながら、自然や地域社会との共生を目指していきます。

さらに、日々の企業活動の中で、日東工業だからこそできる価値を追求し、**5つのCSR経営方針**を実践することで、「信頼、技術、貢献～電気と情報を明日へつなげる価値創造企業」として持続可能な社会の実現に貢献していきます。





社 是

優良な製品を以て社会に貢献し、
生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する。

経営理念 (CSR経営方針)

- お客様にご満足いただける新たな価値を創造し続けます。
- 人間尊重の精神に基づいた企業活動を進めます。
- 高い倫理観、道徳観に根ざしたコンプライアンス経営を実践します。
- 美しい地球を次世代へつなぐことに貢献します。
- 株主価値を高める経営を常に行います。

長期ビジョン

信頼、技術、貢献〜
電気と情報を明日へつなげる価値創造企業

▶ 企業行動規範

項 目	主 な 内 容
社会的規範の遵守	日東工業グループは、法令や社会的規範、社会的良識に基づいた事業活動を行います。
社会的に有用な製品・サービスの提供	日東工業グループは、安全性・環境保全などに十分配慮し、お客様に満足していただける優れた品質の製品・サービスを提供します。
公正な取引と健全な事業活動	日東工業グループは、公正かつ自由な競争の確保が、市場経済の基本ルールとの認識のもとに事業活動を行います。また、政治・行政との健全かつ正常で透明な関係を維持するとともに、社会的秩序や企業の健全な活動に悪影響を与えるあらゆる個人・団体とは一切係わりません。
企業情報の管理と公正な開示	日東工業グループは、保有する秘密情報や個人情報については、それらが漏洩することのないよう適切な情報管理を行います。会社情報の開示に関しては、必要と認められる情報を、株主・投資家はもとより広く社会に対し積極的に開示します。
知的財産の尊重	日東工業グループは、知的財産の重要性を認識し、その管理に細心の注意を払います。また、第三者の権利を尊重するとともに、自らの権利を守り防衛します。
環境保全への取り組み	日東工業グループは、事業活動を行うにあたり、資源の有効活用・再資源化・省エネルギー・廃棄物の削減・環境汚染の予防に努め、豊かで健康的な社会の環境作りに貢献します。
社会貢献	日東工業グループは、地域・社会との連携と協調を図り、良き企業市民としての役割を積極的に果たします。
安全で働きやすい職場環境の実現	日東工業グループは、社員のゆとりと豊かさを実現し、快適・安全で清潔な職場環境を確保するとともに、社員の人格・個性を尊重し、差別のない自由闊達で創造性の発揮できる企業風土を実現します。
国際ルールの遵守	日東工業グループは、事業活動にあたり国際ルールを遵守するとともに、諸外国の文化・慣習を尊重します。

品質方針

お客様に、当社製品を安全・安心にご利用いただけるように、日東工業グループでは「安全・安心な、より高い品質の製品・サービスをお客様に提供する」を品質方針として、お客様第一主義に基づくサービス体制を進めています。

品質方針

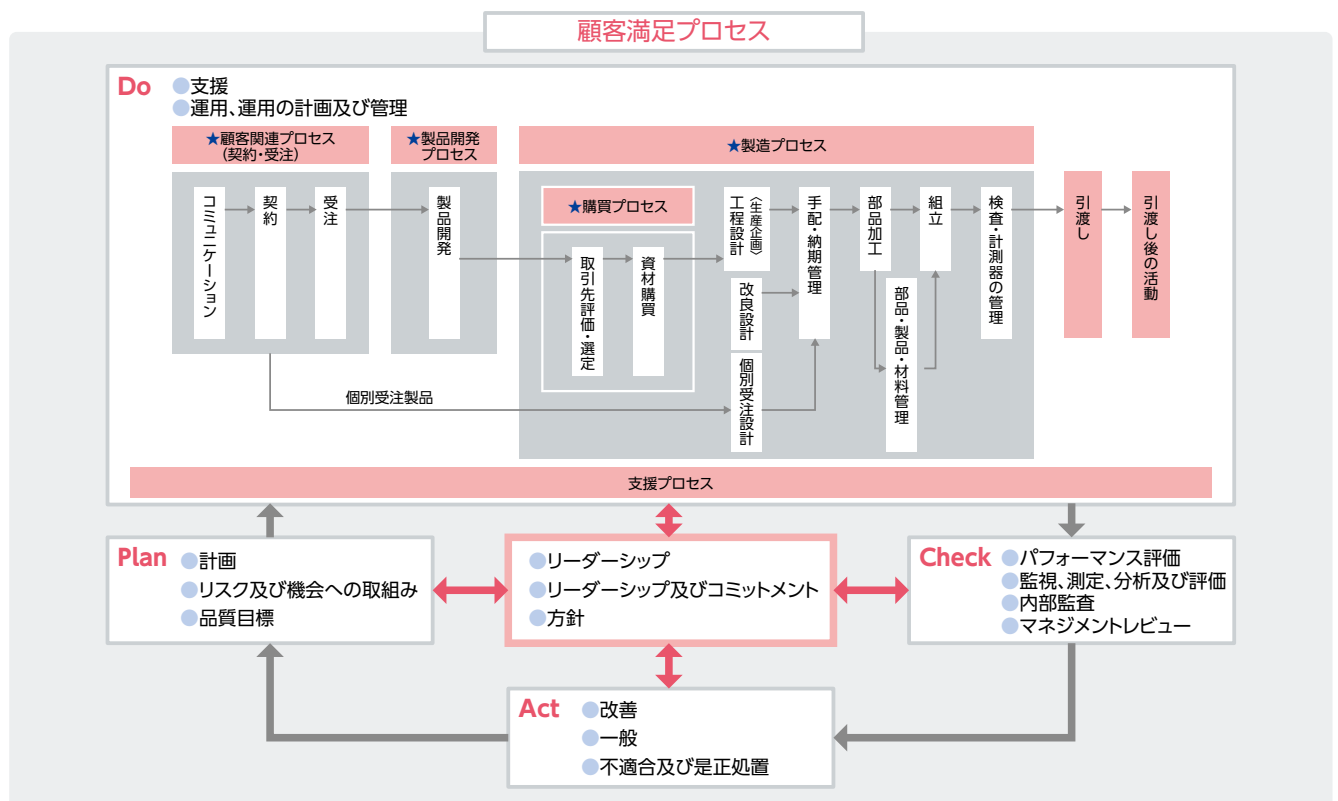
安全・安心なより高い品質の製品・サービスをお客様に提供する

品質目標

品質改善の推進

品質保証体制

お客様満足度向上を図るために、当社では「品質保証室」を設置し、社内規程に「品質マニュアル」を定め、専門委員会（品質委員会）を通して、問題点の改善に向けたPDCAを回しています。



ISO 9001の認証を取得

1997年7月4日に菊川工場で品質マネジメントシステム ISO 9001の認証を取得し、現在は、全工場（東北日東工業㈱を含む）・全営業所で取得しています。



品質教育

品質マネジメントシステムを実施し、お客様満足度を高めていくために、社員一人ひとりの能力向上は必要不可欠です。当社では、個々の能力に応じた教育カリキュラムを作成し、品質能力の向上を進めています。

教育内容	対象者
品質マネジメントシステム（一般教育・基礎）	新入社員・中途入社社員
品質マネジメントシステム（一般教育）	新任課長・所長
QC7つ道具	全社員
QCサークル研修	推進者・リーダー
ISO9001内部監査員資格取得教育	課長職
品質特別教育	関連部門
QC工程表のつくり方	関連部門
品質目標に関する教育	全社員



■ 環境方針

当社では、1994年度の環境方針策定以来、長期的な展望に立脚して地球環境保全活動に努めています。

2001年3月にISO14001の認証を受け、継続的に環境活動を進めています。

2015年には、ISO14001が改訂され、当社も2017年度より2015年版に適合した環境活動をスタートしています。

今後も、製品・サービスをとおして、より環境保全へ貢献していきたいと考えています。

▶ 環境方針

理 念

当社グループは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、企業の自己責任として効率的な環境管理システムを構築し、事業活動・製品及びサービスの全ての活動において、「CO₂排出削減」「廃棄物の発生抑制」「人と自然との共生」を推進し、持続可能な社会の確立へ寄与します。

方 針

当社グループは、「環境に貢献する新たな価値をつくり出し、美しい地球を次世代につなぐ」企業として以下の原則を履行します。

1 環境関連の法律・条例・協定等を遵守します。

事業活動、製品及びサービスの環境影響をライフサイクルで捉え、以下の環境目標を定め、環境保全型企業を目指します。

- 2**
- ・製品環境負荷の削減(エコ製品化)
 - ・有害化学物質の使用規制
 - ・地球温暖化の抑制
 - ・ゼロエミッションの定着・維持、排出物削減(発生抑制)

積極的な環境保護活動を推進し、下記のテーマに取り組みます。

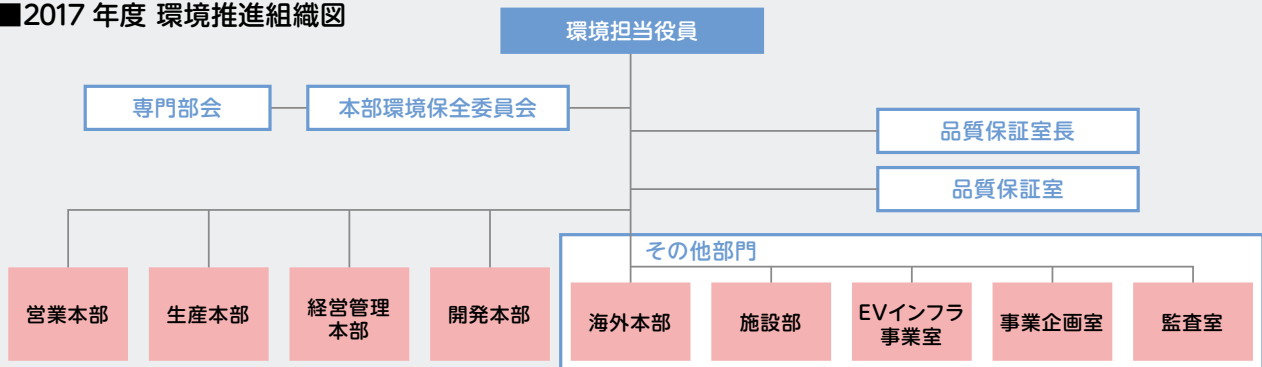
- 3**
- ・お客様へエコ製品の提供
 - ・地域社会の一員として地域保全活動を通じ自然との調和を図ります。
 - ・環境に配慮した資材調達や物流を推進します。
 - ・環境汚染の予防に取り組み、安全・安心を地域社会に提供します。

4 環境に関する情報開示に努めます。

5 この方針を、役職員含むすべての業務従事者に周知し、展開します。

▶ 環境推進体制

■ 2017 年度 環境推進組織図



特集

感震ブレーカー普及への
取り組み

阪神・淡路大震災や東日本大震災における火災原因の過半数は電気関係の出火と言われており、大地震発生後の電気復旧時に発生する「復電（通電）火災」を防ぐ有効手段として、近年「感震ブレーカー」が注目されています。

日東工業では、感震ブレーカーが普及するために自治体へのデモ機の寄贈、ラジオ番組での啓蒙活動などさまざまな取り組みを行っていますが、この特集では代表的な2つの活動「伝統的町並みを守る！感震ブレーカー設置」「高機能感震ブレーカーの実証実験」を紹介します。

伝統的町並みを守る！感震ブレーカー設置

公益社団法人日本建築家協会 近畿支部 奈良地域会の「伝統的町並み保全と防災」についての取り組みに賛同し、重要伝統的建造物群保存地区である奈良県の「五條新町通り」へ「感震ブレーカー」の設置をととして、地震時の電気火災対策の普及に取り組んでいます。

今後も「感震ブレーカー」の普及をととし、古い木造建築の歴史的町並みを保全・継承し、地域社会の安全な暮らしをサポートする取り組みを進めていきます。

※奈良県の「五條新町通り」は、今から約 400 年前の慶長 13(1608)年、江戸幕府が成立してすぐに、城作りや町づくりに秀でた松倉 重政が城下町として建設した町並みです。歴史と共に発展したさまざまな建築様式が残され、国内でも有数の歴史的景観となっています。

■奈良県五條市五條新町 重要伝統的建造物群保存地区



奈良県「五條新町通り」



感震ブレーカー(感震リレー付ホーム分電盤)設置事例



感震ブレーカー(既設用)設置事例



高機能感震ブレーカー（地震・雷IoT）の実証実験

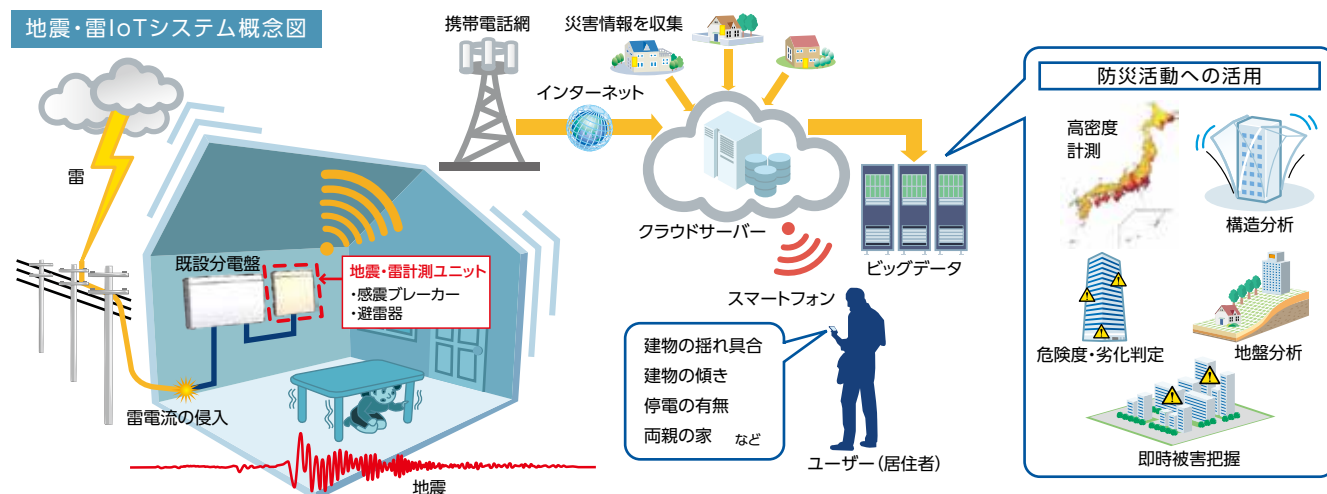
住宅用分電盤の中に組み込む感震ブレーカー及び避雷器にセンサーを取り付け、あらゆるモノがネットにつながるIoT技術を使って地震と雷のデータをクラウドで蓄積・分析することにより、居住者に被害状況をメール通知したり、多数の住宅から集めたビッグデータを防災に活用するシステムを実証するものです。

首都圏の住宅100軒程度に設置工事を進めており、データの取得を開始しています。どの家にも必ずある住宅用分電盤から情報を収集するため、普及が進めばより高密度な地震観測網が構築でき、即時被害把握、構造・地盤分析、建物の危険度・劣化判定などの防災・減災に活用することが期待できます。また、大地震後の電気火災防止に有効な感震ブレーカーと、雷による家電故障防止に有効な避雷器を備えることから、住宅の防災力も向上させます。



東京都「地震時等に著しく危険な密集市街地」の該当地域
高機能感震ブレーカー設置事例

地震・雷IoTシステム概念図



また、この実証実験は、「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2017」（一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会主催）の優秀賞を受賞しました。

この賞は、今後起こり得る大規模災害などに対して、人命を守り、被害を最小化し、迅速な復旧・復興を可能とする、強くてしなやかな国をつくることを目的に、先進的な活動を発掘・評価し、表彰するものです。



ジャパン・レジリエンス・アワード
2017

感震ブレーカー

新設用



感震機能付ホーム分電盤
HCB3E5-102MG
（感震ブレーカー分電盤タイプ対応製品）

既設用



感震機能付ブレーカーユニット
MGユニット
（感震ブレーカー分電盤タイプ増設型対応製品）

感震ブレーカーとは

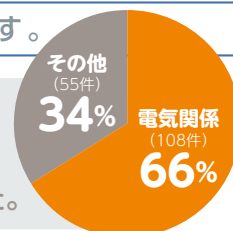
「感震ブレーカー」は感震機能付きの分電盤を表し、「感震ブレーカー等」は上記のほか、コンセントタイプや簡易タイプを含め、地震の揺れを感知し電力供給を遮断する機器全般を示す。

〔平成27年2月 大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン」より抜粋〕

大規模地震による電気火災対策には、「感震ブレーカー」が効果的です。

「感震ブレーカー（分電盤タイプ）」は、地震発生時に震度5強相当以上の揺れを感知すると、電力供給を自動的に遮断する機器です。また、地震波感知から自動遮断するまでに停電が発生した場合、復電時に電力供給を自動的に遮断するため、復電火災の予防に有効な手段です。

東日本大震災では、
火災のうち約2/3が
電気関係の出火でした。



※大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会報告書より引用



品質保証室 お客様とともに

▶ 私たちの思い

お客様目線での品質保証活動。

私たちはお客様の
目線での品質保証活動に
取り組んでいます。



品質保証室長
鈴木 忍

お客様に満足していただける品質保証活動とするため

- 国際規格や環境負荷物質のマネジメントシステムなどへの取り組み
- お客様の満足を第一に考えて行動できる人材育成
- 安全・安心をお客様にお届けするための品質改善活動

などに取り組み、

お客様から日東工業ブランドをご指名いただけるよう
絶え間ない品質改善活動に努めていきます。

2016年度 実績

- 行為保証による
ヒューマンエラー予防推進
- 小集団活動を通して職場環境と
改善力を向上
- 法令を網羅する製品含有化学物質
管理体制の構築

2017年度 目標

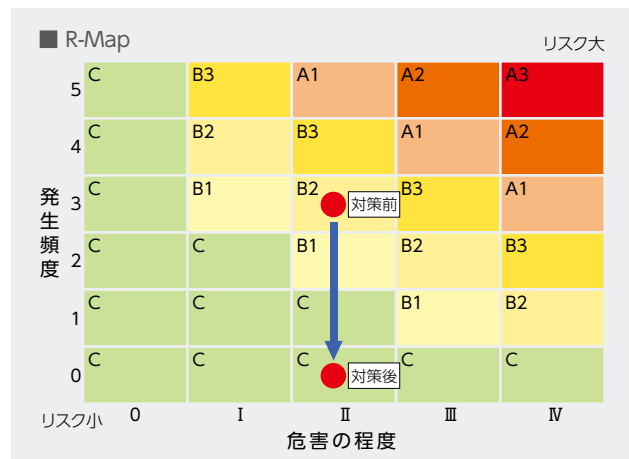
- 行為保証による
ヒューマンエラー予防の活用
- 小集団活動の活性化による
品質向上
- 過去の事例の活用による
リスクの予見



製品リスク予防活動

お客様に安全・安心な、より高い品質の製品を提供するため、製造物責任法（PL法）などの国内外の法律や社会規格を守り、品質レベルの向上を図っています。

R-Mapによる分析手法を利用して、製品リスクアセスメントを実施し、リスクを下げる活動を行っています。



QCサークル活動

1983年よりQCサークル活動を導入し、

- ①リーダー育成と個人の成長
- ②全員参加による明るく楽しい職場づくり
- ③問題解決能力の向上による現場力アップ

この3つの基本理念を基に、製造部門において日々活動しています。

ヒューマンエラー予防

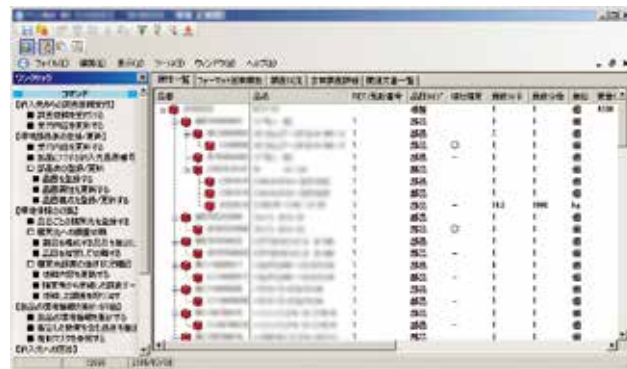
お客様からの不満のご意見を分析すると、ヒューマンエラーが大きな割合を占めています。ヒューマンエラー撲滅を目指し、新たな手法「行為保証」で以下に取り組んでいます。



- できれば管理からプロセス管理へ
- 品質ポイントの明確化と技術伝承
- 品質パトロールによる作業行為の確認

製品含有化学物質

2009年より製品中の有害物質管理ソフトを導入し、当社が取扱う製品に含まれる有害物質の含有把握に努めてきました。納入先様より提出いただいた不使用保証書や含有物質情報を集計・管理し、お客様からの有害物質調査の依頼に対する含有情報の報告に活用しています。



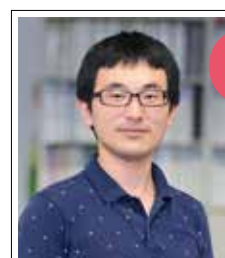
アフターフォロー

お客様に満足いただける製品を使い続けていただくため、お客様からの不満のご意見を集約し、場合によっては積極的な現地調査を実施させていただくことにより、製品の改善や次期製品の開発に役立てています。

また、お客様の大切な設備・装置・機器が安定して稼働を続けられるように修理・改造・技術サービスを提供しています。



お客様とともに「品質保証室」



社員の声

開発・設計・製造・営業 すべての視点から品質向上を牽引します！

品質保証室 品質保証課 井上 育男

品質保証室には、開発・設計・製造・営業各部門を経験したエキスパートが集まっています。各部門の視点からだけでは出せなかった答えで品質向上の方策を提案していきたいと思い、業務に取り組んでいます。お客様からいただくさまざま

まなご意見は、不満のような厳しいご意見であっても品質向上に繋がるチャンスと捉え、日東工業がチャンスを生かせる企業であり続けられるよう、各部門と連携をとりながら日東工業の品質を向上させるよう牽引していきます。



営業本部 お客様とともに

▶ 私たちの思い

お客様に、より大きな満足を提供する。

私たちは多様なニーズに
適応したサービスを
ご提案します。



営業本部長
小出 行宏

お客様に満足したサービスを提供するため

- お客様の声をサービスへ反映する取り組み
- 利便性を高めるシステムの構築
- 多様化する環境に対応ができる人材育成

などに取り組み、お客様から頼られるベストパートナーとして
ご指名いただけるように、常に進化し続けていきます。

2016年度 実績

- パンドウィット社とネットワーク分野で業務提携
- 日東工業グループでの展示会への共同出展
- 菊川工場に体感型ショールームを開設

2017年度 目標

- プロモーション活動の強化
- Webツールの利便性向上
- 日東工業グループによる事業領域の拡大



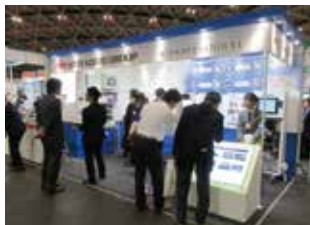
体感型の菊川ショールーム開設

日東工業の主力工場である菊川工場（静岡県菊川市）に、「見て」「触れて」「体感」できるショールームを2016年4月19日（火）にオープンしました。『電気と情報を“つなぐ”“つながる”』をコンセプトに分電盤・キャビネットなど、電気や情報のインフラを支える最新の製品や技術を分かりやすく紹介しています。



日東工業グループでの展示会への共同出展

日東工業、新愛知電機製作所、大洋電機製作所の盤業界におけるリーディングカンパニーが集結し、電気の持つ可能性を提供するために、メッセナゴヤへ日東工業グループとして出展しました。展示会においては、毎日の暮らしと産業をささえる電気インフラのさまざまなニーズをグループで幅広くご提案しました。今後も優れた総合力で豊かな社会を実現するためにグループで幅広くサポートします。



IT技術による「スピード」と「利便性」

より使いやすいシステム・サービスを提供することにより、お客様と当社製品の距離が近くなるよう努めています。当社システムラック（19型ラック）の選定・組替仕様・図面作成のWebシステム「ラクスタ」は多くのお客様にご利用いただいています。業界初の機器搭載可否を画面上でシミュレートが可能な機能などで、さらなる「スピード」と「利便性」を提供しています。



お客様とともに「営業本部」



社員の声

よりよいコミュニケーションツールを創造する

営業企画部 促進課 杉浦 淑子

ショールーム・カタログ・展示会は、お客様に日東工業を知っていただく重要なコミュニケーションツールです。また、新しい発見の機会ともなります。だからこそ、単に製品・サービスを紹介するだけでなく、製品開発に至った経緯や

背景などを知っていただくことにより、驚き・信頼・安心を伝え、印象的なモノにすることが重要だと考えます。今後もお客様に新しい価値をお届けできるように挑戦し続けていきたいと思っています。



開発本部 お客様とともに

▶ 私たちの思い

お客様にご満足いただける
新たな価値を創造。

潜在的なニーズを発掘し、
社会に必要とされる
製品開発

開発本部長
大口 知弘

わたしたち開発部門は、
「お客様へ提供できるモノは何なのか?」
「本当にお客様が求めているコトは何なのか?」
原点を見つめなおし、顕在化されているものだけではなく、
潜在的なニーズを発掘していきます。
「日東工業の製品を使って良かった」と思っただけのよう、
社会に必要とされる製品開発にチャレンジします。

2016年度 実績

- 業界最小サイズを実現した協約形スリム3Pブレーカの開発
- 開発担当者のユーザー訪問活動
- グリーンフィット認定8件

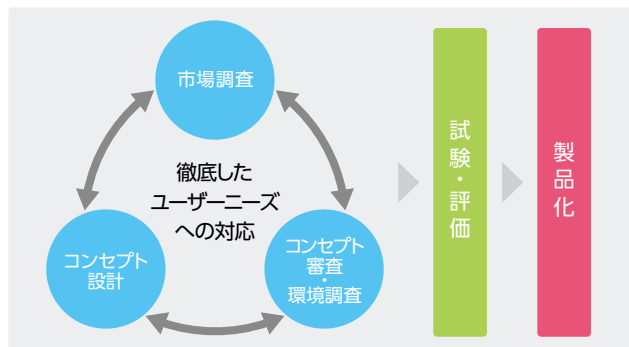
2017年度 目標

- グリーンエネルギー関連製品の開発
- マーケティング力の強化
- 環境に配慮した製品開発体制の継続



製品開発

「すべてはお客様のために」と、さまざまな角度から市場調査を行い、作業性・保守性・信頼性を追及した製品開発をしています。高い技術から生み出される製品は「高品質」、「高機能」、「低コスト」に加え「省資源化」、「リサイクル性」、「有害物質の廃止」など、環境負荷の低減を実現しています。

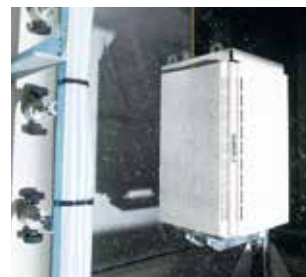


充実した試験・研究設備

製品開発時に耐震試験、IP試験、短絡試験をはじめとする試験設備を活用し、高い品質や安全性能を追求しています。また、既存製品についても定期的に試験を実施することで、その信頼性を確固たるものにしていきます。2017年には新たに3軸耐震試験設備、風雨試験設備を導入し、過酷な設置環境を模擬した試験検証が可能になりました。



■3軸耐震試験設備



■風雨試験設備

環境配慮設計

製品開発時に、省エネルギー、小型化、軽量化、リサイクル性や含有化学物質などの環境影響について評価しており、環境負荷を低減する「環境にやさしい製品開発」を進めています。



当社の環境基準を達成した製品を「グリーンフィット」に認定しています。「グリーンフィット」は、製品の小型化、軽量化、省資源、リサイクル可能率の向上、環境汚染物質の撤廃などをテーマとして環境負荷の低減を実現した製品です。



地球環境を配慮した事業を支援する製品を「グリーンサポート」に認定しています。「グリーンサポート」は環境事業をテーマとして環境負荷の低減を支援する製品です。※2016年度は実績なし。

協約形スリム3Pブレーカ



- 製品体積40%小型化
- 消費電力39%削減
- 製品質量33%軽量化



FSシリーズ ネットワークタイプ



- 部品点数53%削減
- 解体時間20%短縮



フード付角形ルーバー



- 施工時間35%削減
- プラ材料表示率100%



ラックオプション ダクト付パネル



- 製品質量34%軽量化
- プラ材料表示率100%



お客様とともに「開発本部」

インパクトのあるコンパクト!

社員の声

多様化するライフスタイルに合わせて安全に電気を供給することで社会に貢献していきます。

【写真左】機器開発部 第一グループ 片岡 賢司

みなさんが普段利用するコンビニエンスストアでは、挽きたてコーヒー、コピー機、ATMなどサービスの充実にとともに、分電盤へ接続される負荷が増加しています。これが分電盤の大型化を招き、設置スペースが限られるコンビニエンスストアでは課題でした。

【写真右】配電盤開発部 第一グループ 宮山 将

この課題を解決するために生まれたのが、「i saver compact」です。搭載するスリム3Pブレーカは約40年間変わることのなかったサイズを従来製品に比べて40%小型化、さらに高性能化を図り生まれ変わりました。





人 事 部 従業員とともに

▶ 私たちの想い

人間尊重の精神に基づいた
企業活動。

私たちは一人ひとりの
個性を尊重し、能力を活かす
人づくりを目指します。



人事部長
佐藤 嘉高

人材こそ企業活動の源です。

従業員には、仕事を通じて個々の専門性や人間形成に磨きをかけ、
社内はもとより社外またはグローバルに活躍できる人材育成に取り組んでいます。

また、当社では一人ひとりのワークライフバランスを大切にし、
いきいきと働けるようさまざまな施策を行っています。

2016年度 実績

- リフレッシュ休暇制度の取得率
100%を達成
- 育児休業者の復職率100%を達成
- 育児短時間勤務制度の対象年齢を
延長

2017年度 目標

- リフレッシュ休暇制度の取得率100%
- 育児休業者の復職率100%
- 有給取得率の向上



人材育成

「企業は人なり」との理念のもと、「正直な心と誠実な姿勢を貫く」さらに「価値創造の追及に努める」を行動指針として、人材開発に取り組んでいます。これらを具現化するために明確な教育体制を組み、階層別教育をはじめ各種専門教育による技能教育を推進しています。また、自己啓発の支援制度の充実にも力を注ぎ、一般教養を高めるべく、自己啓発の支援制度の充実にも力を注いでいます。

階層別教育	新人 ■ 入社時研修 ■ フォローアップ研修	監督・指導 ■ 監督者新任研修 ■ 監督者強化研修	統率・管理 ■ 管理者新任研修 ■ 管理者強化研修 ■ 上級管理者研修	入社してから、個々の能力に応じ階層別の教育を行います。
専門教育	■ 技術・開発 ■ 生産 ■ 営業 ■ 品質管理 ■ 総務 ■ 経理 ■ 人事・労務 ■ その他			配属された職種別に必要とされる知識・技能を身に付けます。
共通教育	■ キャリア開発研修 ■ 安全・衛生 ■ 公的資格取得 ■ 社外セミナー派遣 ■ 企業倫理 ■ その他			社内外にて共通に求められる知識を身に付けます。
自己啓発	■ 通信教育 ■ その他			自己のスキルアップを目指す社員を支援します。

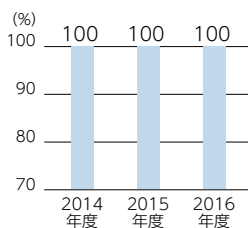
ワークライフバランス

従業員の価値観やライフスタイルが多様化する中、仕事と家庭の調和(ワークライフバランス)を図るため、各種社内制度の整備を進めています。平成28年7月には育児短時間勤務制度を拡充(利用対象を3歳児までから小学3年生(9歳)までに延長)等、新たな対策も導入され、対象者の多くが利用しています。

なお、近年の育児休業制度の取得率・復職率は100%であり、子育て世代の従業員が安心して働ける環境を整えており、平成28年には近年の子育て支援に関する活動が認められ、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣による「くるみん認定」を受けています。



●育児休業復職率



社員のリフレッシュ

ストレス社会において、定期的に心身のリフレッシュを図ることは、充実した社会生活を過ごすために大切なことです。当社では、「フリーパカンス休暇制度(毎年連続3日間)」「リフレッシュ休暇制度(40歳・50歳時連続2週間)」を設け、有給休暇の取得促進を図っています。また、平成28年4月には福利厚生部の外部サービスである「福利厚生倶楽部」へ加入し従業員の余暇活動や私生活の支援制度も充実させています。なかでも、近年の「リフレッシュ休暇制度」の取得率は90%以上を維持しています。

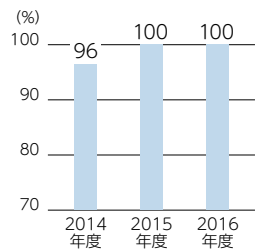
フリーパカンス休暇制度

従業員が年に一度、所定休日に有給休暇3日間を加えた連続した休みが取れる制度

リフレッシュ休暇制度

40歳、50歳を迎えた勤続10年以上の従業員が所定休日に有給休暇を10日間加え、連続した休みが取れる制度

●リフレッシュ休暇制度取得率



メンタルヘルス対策

従業員のこころの健康を保つため、社内の健康管理スタッフによる相談対応だけでなく、社外相談窓口のサービス提供も行っています。

また、管理監督者へのメンタルヘルス研修を定期的 to 実施することにより、メンタルヘルス不調の未然防止と活力ある職場づくりに努めています。



雇用の機会均等

採用選考にあたっては、面接を重視した人物本位で行っています。また、外部環境の変化に対応すべく、人材の多様化も重視しています。

障がい者雇用についてもノーマライゼーション(等しく生きる社会の実現)の理念を尊重し、障がいのある従業員と共存する職場づくりを目標に掲げ、法定雇用率以上の雇用 に努めています。

今後多様な人材がいきいきと働ける職場の実現に向けて、取り組んでいきます。



社員の声

会社と従業員が成長し続けられる環境を目指します。

人事部 人事課 姚 勇

人事課では、会社と従業員がお互いに成長し続ける環境を目指し、さまざまな制度を維持、発展させています。主な仕事としては、社員寮や保養施設の管理、海外赴任者の給与と税務対応、海外勤務や出張時の規程の企画・運用

などを行っています。

刻々と変化する社会環境の変化に伴い、働き方も多様化してきています。今後も法令遵守は当然、従業員が働きやすく、自らの成長を実感できる制度を進めていきます。



生産本部 取引先とともに

▶ 私たちの思い

高い倫理観、道德観に根ざした
コンプライアンス経営を実践。

「顧客価値創出に向けたQCD」 お客様の満足を得るものづくり



生産本部長
落合 基男

最適な品質、コスト、納期を実現するために「長年培った生産ノウハウと生産技術力の融合」
ならびに「品質と生産性の両立」にこだわり続けていきます。

そして地球環境に配慮したものづくりを進めて、

お客様の新たな価値創出に向け挑戦し続けていきます。

また、お客様によりレベルの高い製品を提供するには、当社のみならず、
お取引先様のご協力は不可欠です。

良きパートナーとして相互発展を図り、顧客満足創出のため、
お取引先様と一体となったコンプライアンス活動を推進しています。

2016年度 実績

- 品質保証体制構築への準備
- 生産技術力の強化
- 環境変化に対応した生産体制の構築
- コスト競争力の強化

2017年度 目標

- 顧客要求品質に応える体制構築
- コスト削減を極める
- フレキシブルな生産体制構築
- 生産技術力の強化



公正・公平・透明な取引

- 購買部門では「法令遵守・企業倫理」を重視し、自社独自で作成した「購買部門行動計画」に基づき、調達活動に取り組んでいます。
- お取引先様の「品質・価格・納期・技術力」および、「環境への配慮・保全」などを総合的に判断して、「公正・公平な評価・選定」を行い、透明性のある取引を行なっています。
- 購買担当者は、必要な知識や関連法規の習得に努めていますが、特に下請法教育については、中小企業庁委託「下請取引改善講習会」の受講を義務付けるなど、さらなるコンプライアンス向上を目指しています。

お取引先様との信頼関係

正しいコンプライアンスの実施には、お取引先様とのコミュニケーションは不可欠だと考えます。そのため購買部門は、Face To Faceでの意思疎通を図るため、「賀詞交換会」や「取引先監査」を定期的に行なっています。これらの機会は、コンプライアンス活動を維持確認するのみでなく、お取引先様との信頼関係構築に繋がっています。



技術・技能伝承の取り組み

長年培った「コア技術・技能」を伝承していくため、「ラーニングセンター」の機能的な運営に努めています。競争力の源泉でもある「現場力・技術力」を高め、お客様からの信頼ならびに満足をいただけるよう、努めています。

【ラーニングセンターの役割】

- 1 会社全体の技術レベルのベースアップ維持
- 2 技能・ノウハウの伝承と次世代の人材育成
- 3 社員間交流による知識の創出



■ 安全体感装置による【安全教育】

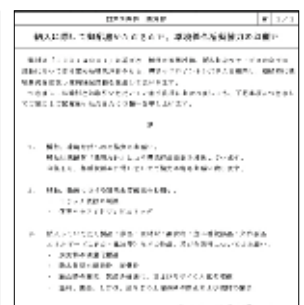


■ 5S・整理整頓トレーニング

グリーン調達・環境への配慮

「低環境負荷への取り組み・地球環境に配慮した製品化・含まれる有害化学物質への関心」は年々高まる傾向にあります。

当社では、環境取り組みへの基本的な考え方と、お取引先様へのご協力をお願いする「グリーン調達ガイドライン」を定めて、さらなる顧客満足向上を目指しています。また、RoHS（特定有害物質使用制限）指令はもちろんのこと、JGPSSI（グリーン調達調査共通化協議会）に準拠した部材への切替を推進するとともに、廃棄物減量化の推進や、輸送による環境負荷削減（アイドリングストップ・輸送の合理化）など、お取引先様と一体となって環境活動に取り組んでいます。



社員の声

社員一人ひとりの改善活動が安全・安心な製品のものづくりを支えています！

生産企画部 企画課 白木 宏明

個別に進める改善効果と併行して、企画課では、部門横断的業務に対する課題を共有し、全体最適を目指しています。多面的に考えられる部門だからこそ、全く新しい発想の支援ができ、経験値やアイデアを融合させながら課題解決に

取り組み、より良い方向へ導いています。今後も改善を積み重ねて、品質向上・生産性向上を図り、お客様の満足へ繋がっていきます。



総務部 株主とともに

▶ 私たちの思い

株主価値を高める
経営を常に行う。

株主・投資家との コミュニケーションの 充実を図る。



総務部長
蔵 辰紀

過去の成功を守ることや目先の利益を追うことを優先し、未来への投資を後回しにするようなことはしません。株主価値を最大化する中長期的な成長と持続的な利益の創出を経営目標として、変わらず良い会社であり続けるために改善・改革を日々積み重ねます。成長シナリオを分かりやすく開示し、当社の目指す姿、当社の強みを一人でも多くの方にご理解いただきたいと思います。また、株主の皆様との対話の中でいただいた意見を経営にも反映させていきたいと考えています。日東工業という会社を正しくご理解いただき、適正な評価をいただけるよう説明責任を果たしていくことがわれわれの使命です。

2016年度 実績

- 2017年3月期 1株当たり年間配当金50円
(中間25円・期末25円)
- 配当性向44.9% (7期連続配当性向30%以上)
- 名証IRエキスポ2016出展 日経IR・投資フェア2016出展
- 機関投資家 One on One
ミーティング実施 48回
- 機関投資家・アナリスト向け29年3月期
第2四半期決算説明会開催
- 個人投資家向け会社説明会開催

2017年度 目標

- 2018年3月期 1株当たり年間配当金40円
(中間20円・期末20円)
- 配当性向42.6%
- 名証IRエキスポ2017出展 日経IR・投資フェア2017出展
- 機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催
- 個人投資家向け会社説明会の開催(名古屋)
- 機関投資家 One on One
ミーティング実施 70回



開かれた株主総会

株主総会を当社について理解していただく絶好の機会と捉え、「開かれた総会」を目指した運営を心掛けています。株主の皆様へ発送する招集通知に関しては、発送日前インターネット開示や、インターネットによる議決権行使を実施しているほか、外国人株主の皆様のために招集通知の一部英訳化を実施するなど、株主の皆様の権利行使における環境作りの充実を図っています。また、株主総会終了後には当社ショールーム「PLAZA NEXTA」へのご案内を行い、当社の魅力や将来性をお伝えするなど、株主の皆様とのコミュニケーションの充実に努めています。



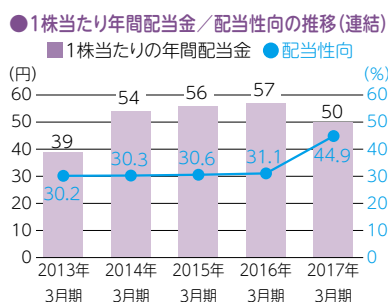
IRイベント

株主・投資家の皆様との信頼関係を築くために、IRイベントに積極的に参加しています。第1回目の開催から毎年出展している「名証IRエキスポ」では、会社の特色、業績の動向、将来展望など積極的なPRを行い、当社の魅力をお伝えすることに努めています。また、2016年度は東京で開催された「日経・IR投資フェア2016」へ初出展し、多くの投資家の皆様とのつながりを持つことができました。



株主還元

株主の皆様に対する利益還元を、経営の最重要政策のひとつとして位置づけています。利益配分につきましては、株主の皆様への安定的な配当を維持することを基本に、連結配当性向30%を目標に業績などを総合的に勘案して実施しています。2017年度からは、従来の配当方針に加え、より安定的に株主還元を行うことも考慮して、連結純資産配当率などを勘案して実施する方針に変更しています。



IR活動の充実

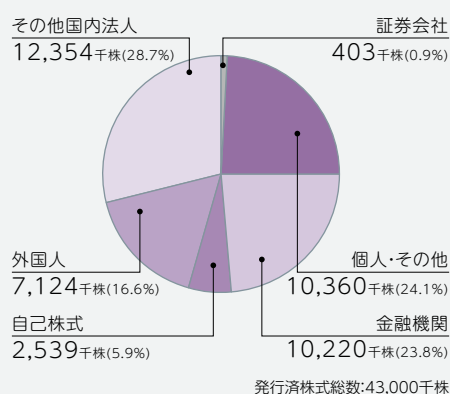
株主の皆様への情報開示、コミュニケーション活動を中心に、さまざまなIR活動を進めています。具体的活動として、当社へのさらなる理解を深めていただくために、2016年度は機関投資家・アナリスト向け決算説明会を8年ぶりに再開したほか、個人投資家向け会社説明会を初めて実施いたしました。

2017年度は、東京以外での個人投資家向け会社説明会の実施を計画するなど、これまで以上に株主の皆様とのコミュニケーション活動の充実を進めていきます。

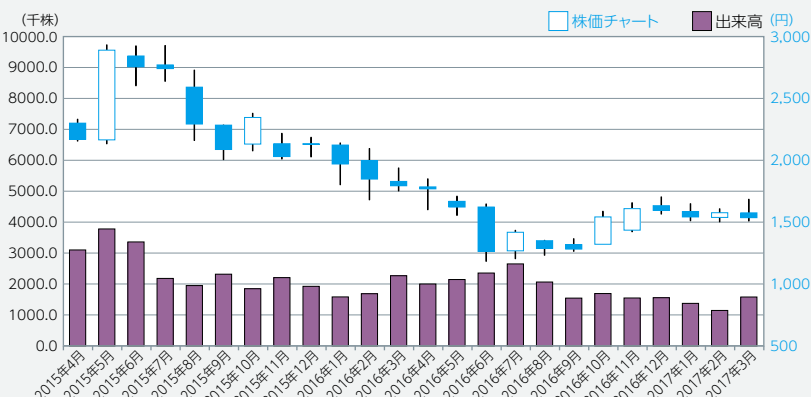


株式の状況

● 所有者別分布の状況(平成29年3月31日現在)



● 株価チャートと出来高の推移



社員の声

社会の変化を敏感に捉え、さまざまな情報の発信に取り組んでいます

総務部 総務課 沖 誠人

昨今、企業には多くの情報開示が求められており、内容もより高度化しています。会社の現状や将来の展望、ガバナンス体制など複雑な情報の開示が求められる中、それをいち早く開示・説明していくことで当社の企業価値向上につなが

るように努めています。

さまざまなIR活動を実施していく中で、株主・投資家の方々と接する機会を増やし、一人でも多くの方に日東工業のファンになっていただけるよう今後も努力を続けていきます。



品質保証室 環境推進課

地球環境のために

▶ 私たちの想い

新しい価値を作り出す
ことで社会へ貢献

美しい地球を次世代へ
つなぐためにできること

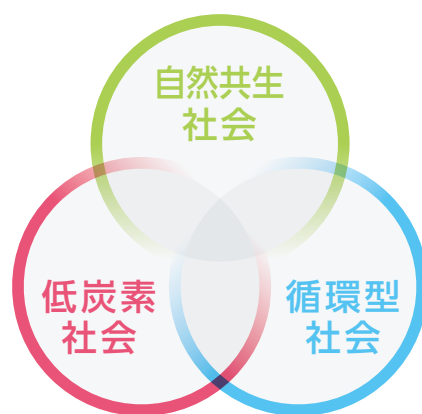


品質保証室長
鈴木 忍

今、「持続可能な社会(明るい未来)」を目指す上で、

- 低炭素社会
- 循環型社会
- 自然共生社会

を構築することが、重要とされています。当社では、
環境方針「環境に貢献する新たな価値をつくり出し、美しい地球を
次世代へつなぐ」とし、地球環境に配慮した製品づくりを進めること
で、こうした3つの社会の構築に寄与できるよう目指しています。



2016年度 実績

- CO₂削減/2011年度基準 11.5%削減
- 排出量の削減/2011年度基準 原単位5.9%削減
- エコ製品認定率/100%(グリーンフィット:8製品)
- 有害物質の使用規制/8製品すべてが
CMS(製品含有化学物質管理)基準に適合

2017年度 目標

- CO₂削減/2016年度基準 1%削減
- 排出量の削減/2016年度基準 原単位0.5%削減
- エコ製品認定率/70%以上
- 有害物質の使用規制/CMS要領の運用管理



自然共生社会を目指して

私たちの事業活動は、製品を製造する上で、材料・水といった自然の恩恵を受けて成り立っており、その事業活動によって自然を破壊してしまっては持続可能な社会を構築することはできません。当社では、以下の地域貢献を進めています。

「企業の森づくり活動」の取り組み

東北日東工業(株)

2012年に岩手県・花巻市・東北日東工業(株)の3者間で「企業の森づくり活動」の協定を締結して以来、毎年森林保全活動を実施しています。2016年度は、胡四王山の草刈りなどを2回実施しました。宮沢賢治が愛した花巻市の美しい自然環境を次世代に残せるよう、今後も活動に取り組んでいきます。



「植樹作業」への参加

磐田工場

静岡県では、基本理念である「持続可能な水循環社会の形成」に向けて、磐田市環境保全推進協議会を軸とした、さまざまな地下水保全活動を実施しています。地下水を利用している磐田工場ではこの活動に賛同し、2016年度の活動として磐田市環境保全推進協議会主催の敷地地区の山林の間伐や杉の植樹へ参加しています。



低炭素社会を目指して

私たちは、地球温暖化の抑制を図り、低炭素社会を目指すために、以下の活動を進めています。

- グリーンエネルギーの提供
- 省エネに寄与する設備の導入
- 業務改善によるエネルギー使用量の削減 など

ライトダウンキャンペーンへの継続参加

全 社

毎年、環境省が呼び掛けている「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に対し、当社では各工場において看板灯およびそれ以外でも実施可能な範囲でライトダウンを実施することで、継続的に参加しています。2016年度は、キャンペーン期間後も含めた6月21日から8月31日までの期間で実施しました。



■ 通常



■ キャンペーン期間

循環型社会を目指して

限りある資源を大切にするために、私たちは以下の排出物削減に取り組み、循環型社会の構築に寄与していきます。

- 2003年度に達成したゼロエミッションを維持
- 分別の徹底による資源の有効活用
- 廃棄物処理業者を定期的に訪問し情報収集
- 業務改善による排出物の発生抑制 など

産業廃棄物処分場の視察

全 社

不法投棄が社会問題化している現在、産業廃棄物処分量および運搬業の取引先と安心した信頼関係を築くことが重要と考えます。当社では社内認定を受けた社員が産業廃棄物処分場を定期的に訪問し、指定のチェックシートに従って処分状況・マニフェスト管理状況・5S管理状況などを確認、評価しています。当社が引き渡した産業廃棄物が適正に処理されていることを確認すると共に、環境負荷低減に努めている取引先とのお付き合いを深めています。



社員の声

フロン排出抑制法に基づく点検の役割

東北日東工業(株) 施設課 高橋 直人

東北日東工業ではオゾン層を破壊するといわれるフロン類や地球温暖化への影響が大きい代替フロンを使用した設備(空調、チラーなど)を約50台所有しており、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」(フロン排出抑制法)による点検を実施しています。一つひとつの点検は大変

ですが、漏洩リスクを低減するだけでなく、設備の状況(劣化度、フィルターの汚れなど)を把握することで効率の良い設備運営につながっています。これからも地球環境負荷低減に向けて役割を果たしていきたいと思っています。



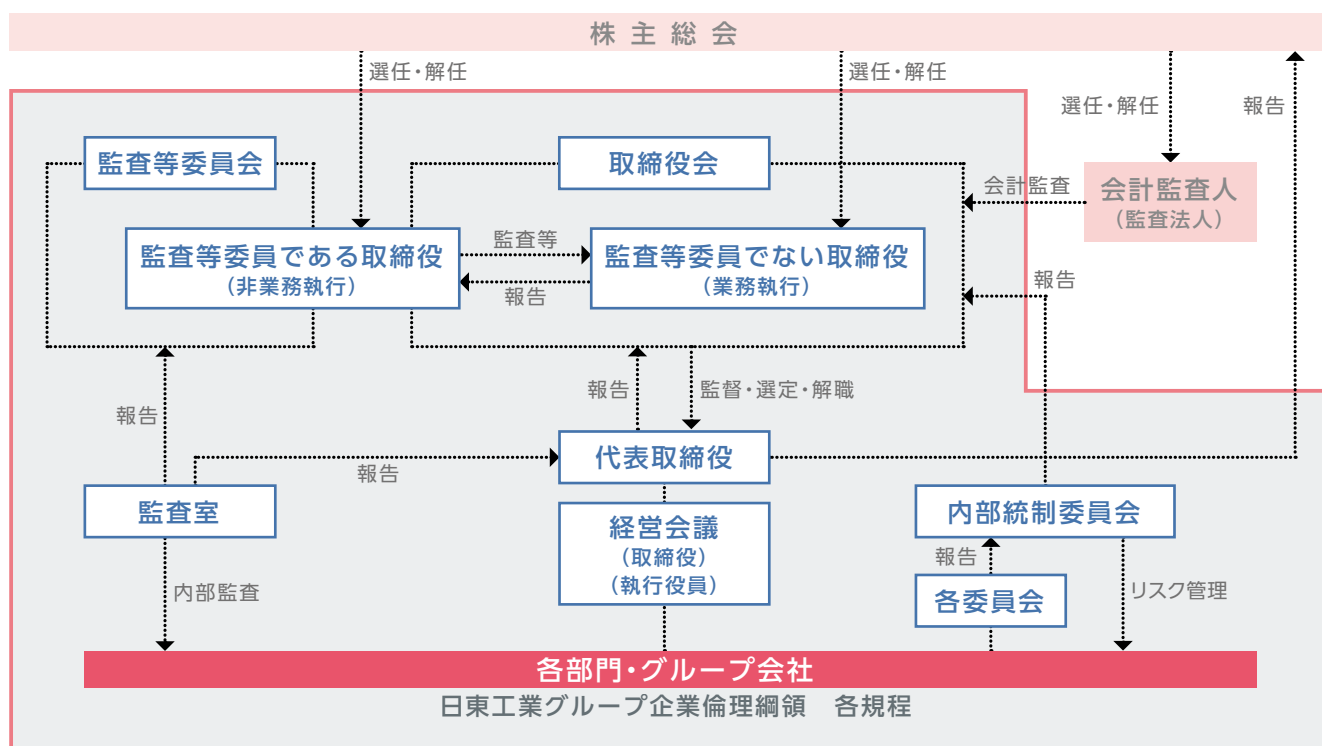
 企業ガバナンス

「優良な製品を以て社会に貢献し、生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する」の社是のもと、長期ビジョン「信賴、技術、貢献〜電気と情報を明日へつなげる価値創造企業」を目指しています。

▶コーポレートガバナンスの体制の概要

当社は、良心に基づいた誠実な行動と公明正大な経営を常に心掛け、ステークホルダーとの信頼関係を強化していくことを大切に、健全でかつ透明性が高く、経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制を構築します。また、公正で規律あるコーポレートガバナンスを構築し、持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目指しています。

この基本的な考え方のもと、当社は、監査等委員会設置会社の機関設計を採用してしています。



当社は監査等委員会設置会社です。取締役による多面的な検討と的確な意思決定および業務執行を行う一方、監査等委員である非業務執行取締役(複数の社外取締役を含む)で構成する監査等委員会を設置しています。その監査等委員に対しては、取締役会における議決権を付与することで監視・監督の一層の強化を図っています。各機関につきましては以下のとおりです。

1) 取締役会

取締役会は、取締役会規程に基づき、取締役6名（監査等委員であるものを除く）および監査等委員である取締役4名（うち社外取締役3名）により構成されています。毎月1回の定期開催のほか、必要に応じて臨時に開催され、法令、定款または取締役会規程に定める重要事項の決定や、重要な職務の執行状況報告およびその監督を行います。社外取締役3名を含む監査等委員4名全員の出席のもと、公正・中立な立場より経営上の重要事項について積極的に助言や意見を求め、監視・監督機能の強化と円滑な運営に努めます。

2) 監査等委員会

当社の監査等委員会は監査等委員である取締役4名（うち社外取締役3名を含む）で構成しています。監査等委員会の定める監査等委員会監査等基準に基づき、監査等委員による重要な会議への出席や会社の業務および財産の状況に関する調査等を通じて、取締役会決議その他における取締役の意思決定状況および監督業務の履行状況等の監視・監督、検証を行います。監査の実施状況とその結果については定期的に代表取締役および取締役会に報告され、必要があると認めたときは助言または勧告その他状況に応じた適切な措置を講じます。

3) 内部監査体制

業務部門から独立した監査室(4名)を設け、内部監査規程に基づき、当社およびグループ会社に対し、法令および社内規程の遵守状況、ならびに業務の効率性等について検診・評価および改善指示を行っています。監査結果については取締役社長に報告し、業務の効率性、健全性の維持・向上に努めるとともに、監査等委員に対し毎月業務監査内容についての報告を行っています。

4) 外部監督体制

当社は有限責任 あずさ監査法人との間で監査契約を締結し、会計監査を受けています。有限責任 あずさ監査法人は監査等委員会とも定例的および必要に応じて都度会合を行い、会計業務に関する報告を受け意見交換を行っています。



▶コンプライアンスは企業活動を支える重要な基盤

コンプライアンス体制の整備は、健全で効率的な企業活動を支える重要な基盤であり、これからも社会に信頼され貢献する企業であり続けるためにも、ますます重要になっています。

日東工業グループは、設立以来、優良な製品とサービスを創出することで、株主をはじめ販売先や仕入先、地域の皆様との信頼を構築してきました。この信頼は、多くの先輩方による誠実な行動と日々のたゆまぬ努力によって作り上げた宝物です。これらを一層高め、次世代に伝えていくことは、日東工業グループに帰属する私たちの責務であると考えています。

▶コンプライアンスの浸透活動

日東工業グループの全役職員が共通の価値観をもち、コンプライアンスについて理解、実践していけるよう「日東工業グループ企業倫理綱領」を作成し、全役職員に配布しています。また、毎年「企業倫理職場会」を開催し、コンプライアンスについて話し合う場を設けるなど、個人レベルまで浸透させる活動を行っています。



▶ヘルプラインの設置

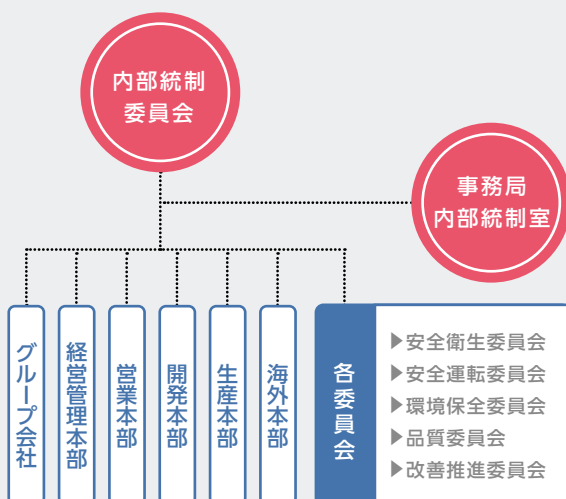
企業倫理綱領に反する行為を早期に発見し、解決するために、グループ全体の共通窓口として「ヘルプライン」を設置しています。相談したことにより不利益を被ることがないこと、また相談内容が外部に漏えいすることがないように徹底し、公正な調査のもと、問題の改善や再発防止策を策定しています。

▶内部統制システムの構築

取締役会で決議した「内部統制システムの基本方針」に基づき、役職員およびすべての業務従事者により内部統制システムの構築を図っています。

グループ全体の内部統制を統括・推進する組織として「内部統制委員会」を設置し、下部組織として「安全衛生委員会」「安全運転委員会」「環境保全委員会」「品質委員会」「改善推進委員会」などを設置するとともに、各本部を通じてコンプライアンス遵守、業務の適正性・効率性、リスク管理、財務報告の信頼性を確保するための体制を整備・運用し、さらなる内部統制の充実を図っています。

■内部統制委員会 組織図

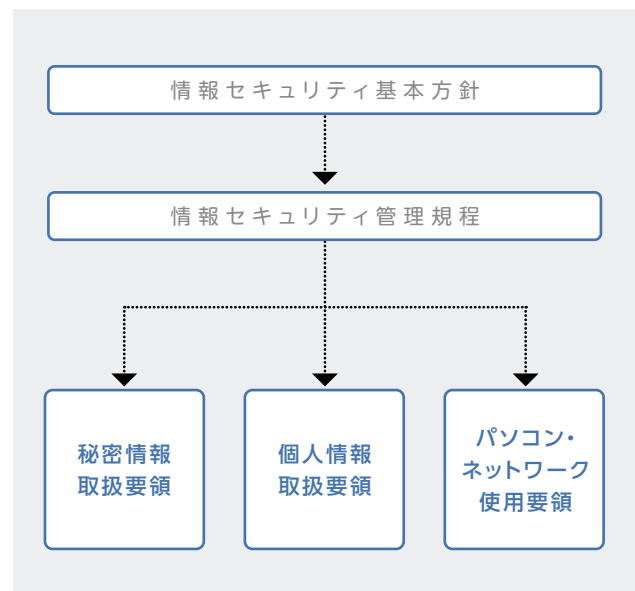


▶情報セキュリティ管理

情報管理においても顧客や取引先の信頼に応えることは、何より大切なことです。

情報には、流出、盗難、紛失などのリスクが常に存在します。そのため当社では、顧客や取引先からお預かりした情報はもとより、社内の機密情報を安全かつ適切に管理・運用するために情報セキュリティ基本方針を策定し、情報セキュリティ対策を実施しています。

また、情報セキュリティ管理レベルの向上を図るため、課長以上にeラーニングによる社内教育を実施するとともに、定期的に情報セキュリティ監査を実施し、職場での意識向上に努めています。

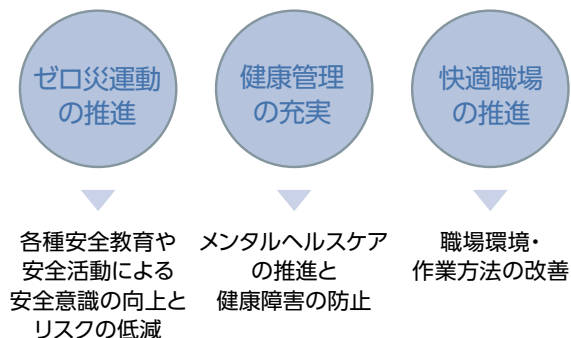


■ 安全・安心な職場づくり

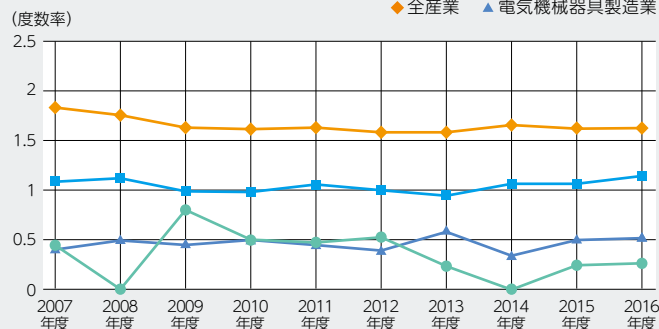
本社の「安全衛生総括者」が中心となって安全管理体制を整備し、従業員がいきいきと安心して働ける快適な環境づくりを目指しています。

▶ 安全衛生への取り組み

「安全を築き、健康を保つ」をスローガンに、従業員の安全と健康を守るよう安全衛生活動に取り組んでいます。



● 業務上災害の度数率



度数率…100万時間当りの死傷者数
※日東工業グループの数値は派遣社員含む

▶ 安全衛生活動

危険予知訓練(KYT)、ヒヤリハット報告などの安全活動による従業員の安全意識向上、リスクアセスメント活動によるリスクの低減、安全衛生、5S巡視、産業医巡視、経営トップ層による巡視などの職場巡視活動、メンタルヘルス教育の実施など、健康で安全に働ける職場づくりに努めています。



▶ 交通安全への取り組み

地域住民の安全と社員の交通マナー向上のため、毎月10日に各工場周辺で交通立番を実施しています。

また、車通勤の社員や、車両運転責任者には年1回の安全運転講習の実施、通勤事故防止3か条(1.早めの出勤を心掛ける 2.抜け道・近道をしない 3.退社帰宅時に急がない)の推進、駐車場での事故撲滅運動、全社有車にテレマティクス車載機を装着して車両の速度超過・急発進・急停車などの運行状況を把握するなど、安全運転確保に取り組んでいます。

▶ 災害への取り組み

大規模災害などの緊急事態に備え、事業資産の損害を最小限にとどめ、中核事業の継続あるいは早期復旧を可能とするため、BCP(事業継続計画)訓練の定期的な実施や、各工場単位で放水訓練・避難訓練などの防災訓練を行っています。

また、負傷者への対応をするため、各工場・職場に救急隊員を任命し、毎年定期的に応急処置の訓練や、AED(自動体外式除細動器)の使用方法についての訓練を行っています。



■ 社会貢献

地域社会の発展に貢献することは重要な役割だと考え、全国の工場・事業所でさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

▶ 人材育成の取り組み ～豊かな社会の実現を目指して～

未来を担う子どもたちの想像力や感性を育むための学習支援を行っています。

「理科教育支援セミナー」に協力

本社・名古屋工場

電機業界ならではの視点で、教育現場に理科の楽しさを社会問題となっている若い世代の理科離れに対し、愛知県下の小中学校の先生を対象に開催されている日本電機工業会(JEMA)主催の「理科教育支援セミナー」において講演を行っています。地域の理科教育発展に寄与した活動が認められ、愛知県科学教育研究会より感謝状をいただきました。



地域で育てる未来の力

菊川工場

ふるさと志向のキャリア教育を支援

静岡県菊川市教育委員会からの要請を受け、若者の社会的自立に向けての出張授業を菊川市内の中学校で行っています。当社の紹介をはじめとした“地域発の情報発信”を通して、地元で働く魅力に気づき、地域活性化につながる就労支援を進めています。



▶ 地域振興への取り組み ～地域社会とともに～

イベント協賛やボランティア活動への参加を通して、豊かな社会の実現をサポートしています。

再生可能エネルギー事業を推進

唐津工場

官・民・学が連携した環境保全活動

自社製品の開発や信頼性向上のために太陽光発電所を設置している唐津工場では、再生可能エネルギー事業推進のための人材育成プログラム「佐賀再生エネパイオニア講座(佐賀県・佐賀大学などとの共同開催)」が行われました。



「地域の清掃活動ボランティア」

本社・名古屋工場

支え合える地域づくりを目指して

“地域との共生”をモットーに、本社・名古屋工場では年2回、有志メンバーや家族、友人が集まり、地域住民や近隣企業の方々とともに工場周辺の清掃活動を行っています。



▶ 環境保全への取り組み ～自然の豊かさを未来に受け継ぐ～

環境や社会と共生したより良い社会の発展を目指した活動を続けています。

みどり豊かな「公園工場」

本社・名古屋工場

周辺地域と調和した「公益のある企業でありたい」、「環境と共生したみどり豊かな風景を楽しめる生活環境をつくりたい」という創業者の精神のもと、自然を融合させた「公園工場」をつくり、環境に配慮した生産活動を行っています。

植栽の随所に彫刻などの芸術作品が配置され、地域の方々や社員の憩いの場となっています。





ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



日東工業は、Fun to Shareに賛同しています。



ノンVOC (Volatile Organic Compound) インキ

植物油インキの比率をほぼ100%に高めたもの。大気中への有機化合物の揮発はほとんどありません。



FSC® 認証用紙

この印刷物には、FSC® 認証用紙が使用されています。



Waterless

印刷時に有害な廃液がでない「水無し印刷」で印刷しています。

NITO 日東工業株式会社

平成 29年10月発行

発行部署／お問い合わせ先

広報室 広報課

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地

TEL (0561) 64-0123 FAX (0561) 62-1300

<http://www.nito.co.jp/>

SP-646 0110.2075SSN
OM10ILC6